

RV130およびRV130Wルータでのユーザアカウントの設定

目的

この記事の目的は、RV130およびRV130Wルータで管理者ユーザとゲストユーザを設定する方法を説明することです。

RV130およびRV130Wルータは、設定を表示および管理するためのユーザアカウントを提供します。認証ドメイン、ローカルエリアネットワーク(LAN)とサービスアクセスルール、およびアイドルタイムアウト設定を共有するSecure Sockets Layer (SSL)バーチャルプライベートネットワーク(VPN)の異なるグループまたは論理グループのユーザを使用できます。ユーザ管理では、特定のタイプのファシリティを利用できるユーザのタイプと、その方法を定義します。

該当するデバイス

- RV130
- RV130W

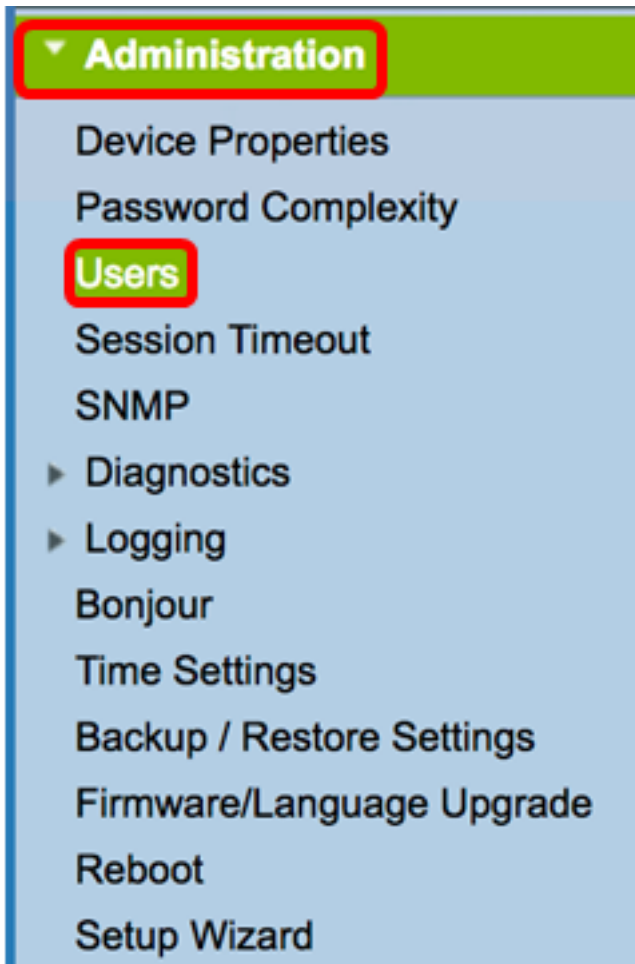
[Software Version]

- 1.0.3.22

ユーザアカウントの設定

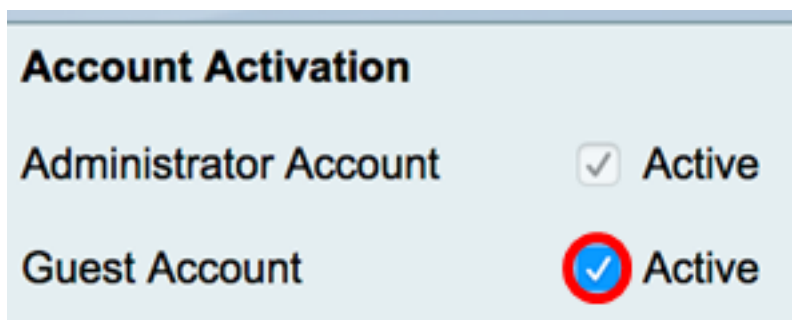
アカウントの有効化

ステップ1：ルータのWebベースユーティリティにログインし、**Administration > Users**の順に選択します。



ステップ2 (オプション) [Account Activation]領域で、[Active Guest Account] チェックボックスをオンにして、ルータへの読み取り専用アクセスを有効にします。

注：管理者アカウントはデフォルトで有効になっており、オフにすることはできません。管理者アカウント権限は、構成と設定の読み取りと書き込みを行います。



管理者アカウントの設定

ステップ1:[Edit Administrator Settings] チェックボックスをオンにして、設定のフィールドを有効にします。

Administrator Account Settings

Edit Administrator Settings

New Username:

Old Password:

New Password:

Retype New Password:

ステップ2:[New Username] フィールドに、管理特権ユーザの新しいユーザ名を入力します。デフォルトは cisco です。

注：この例では、Ciscoを使用します。

Administrator Account Settings

Edit Administrator Settings

New Username:

Old Password:

New Password:

Retype New Password:

ステップ3:[Old Password] フィールドに、管理者権限アカウントに関連付けられた古いパスワードを入力します。

Administrator Account Settings

Edit Administrator Settings

New Username:

Cisco

Old Password:

.....

New Password:

Retype New Password:

ステップ4:[New Password] フィールドに、アカウントの新しいパスワードを入力します。パスワードの強度メーターがフィールドの右側に表示され、長さで使用される文字に基づいてパスワードの強度が決定されます。

Administrator Account Settings

Edit Administrator Settings

New Username:

Cisco

Old Password:

.....

New Password:

.....



Weak

Retype New Password:

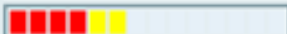
ステップ5:[Retype New Password] フィールドに、入力したパスワードを再入力します。

Administrator Account Settings


Edit Administrator Settings

New Username:

Old Password:

New Password:  Weak

Retype New Password:

ステップ6: をクリックし  す。

管理者アカウント設定が正常に構成されました。

ゲスト設定

ステップ1:[Edit Guest Settings] チェックボックスをオンにして、設定のフィールドを有効にします。

Guest Settings

Edit Guest Settings

New Username:

Old Password:

New Password:

Retype New Password:

ステップ2:[New Username] フィールドに、ゲスト特権ユーザの新しいユーザ名を入力します。デフォルトはguestです。

注: この例では、Discoを使用します。

Guest Settings

Edit Guest Settings



New Username:

Disco

Old Password:

New Password:

Retype New Password:

ステップ3:[Old Password] フィールドに、ゲスト特権アカウントに関連付けられた古いパスワードを入力します。

Guest Settings

Edit Guest Settings



New Username:

Disco

Old Password:

.....

New Password:

Retype New Password:

ステップ4:[New Password] フィールドに、アカウントの新しいパスワードを入力します。パスワードの強度メーターがフィールドの右側に表示され、長さで使用される文字に基づいてパスワードの強度が決定されます。

Guest Settings

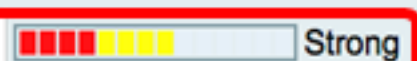
Edit Guest Settings



New Username:

Old Password:

New Password:



Retype New Password:

ステップ5:[Retype New Password] フィールドに、入力したパスワードを再入力します。

Guest Settings

Edit Guest Settings



New Username:

Old Password:

New Password:



Retype New Password:

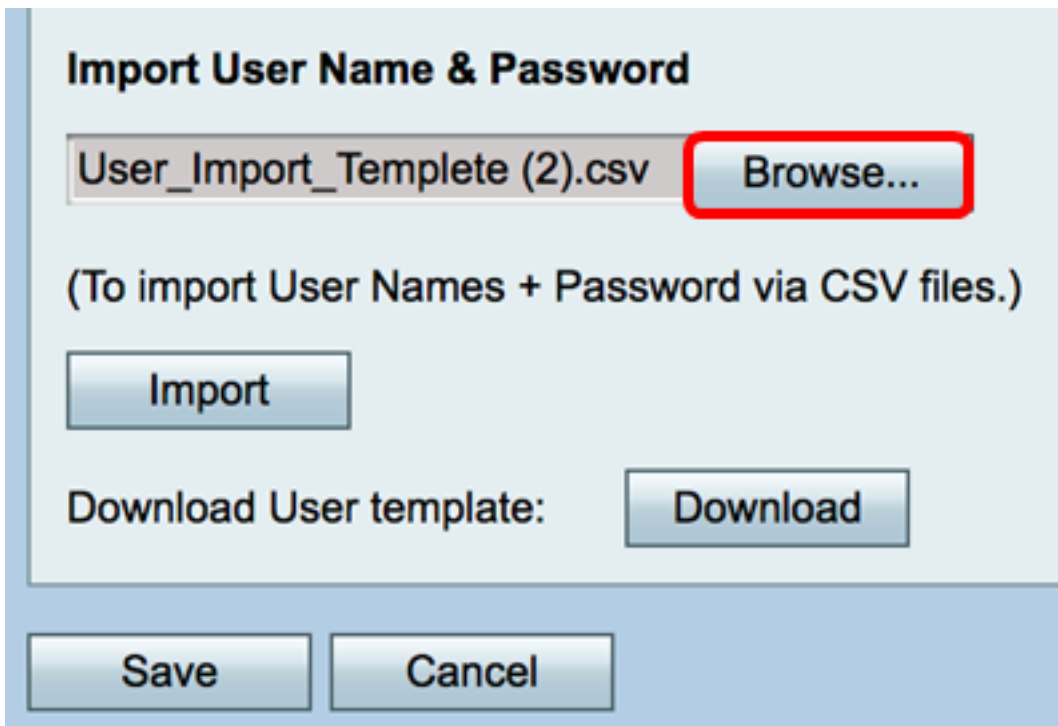
ステップ6 : をクリックしま す。

これで、ゲストアカウント設定が正常に設定されました。

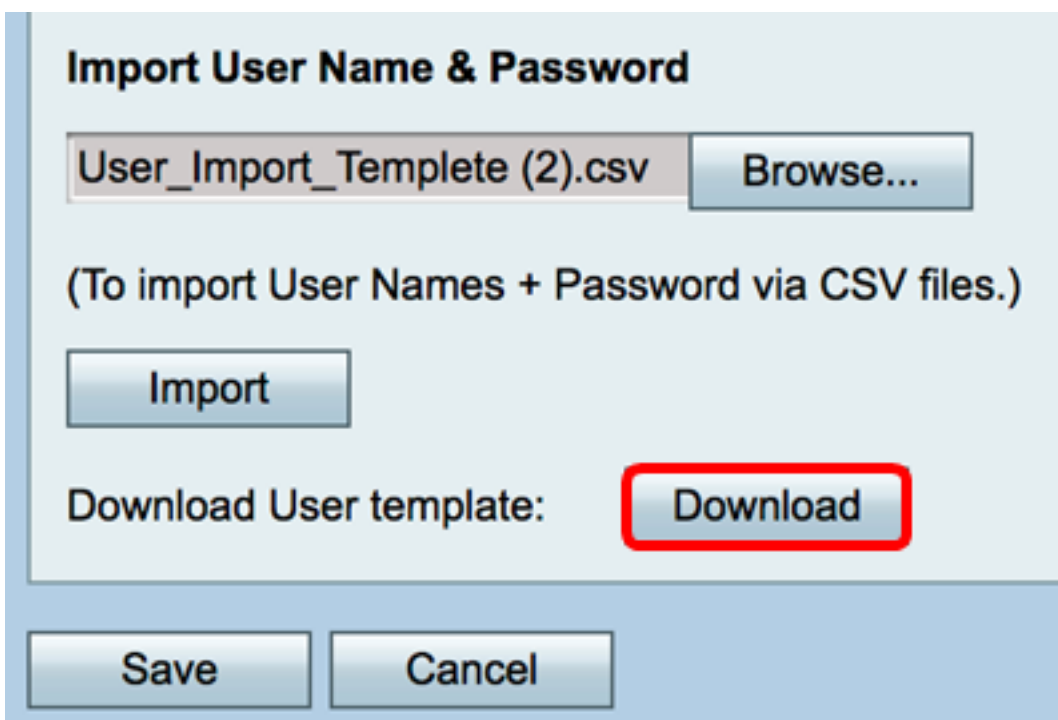
ローカルユーザのインポート

ステップ1:[Import User Name & Password]領域で[Browse...] をクリックし、適切なファイルを選択します。これはカンマ区切り値(CSV)ファイルである必要があります。テンプレートをダウンロードするには、[ステップ2](#)に進みます。

注 : この例では、User_Import_Template (2).csvが使用されています。



ステップ2:(オプション)テンプレートをダウンロードするには、[Download]をクリックします。



ステップ 3 : [Import] をクリックします。

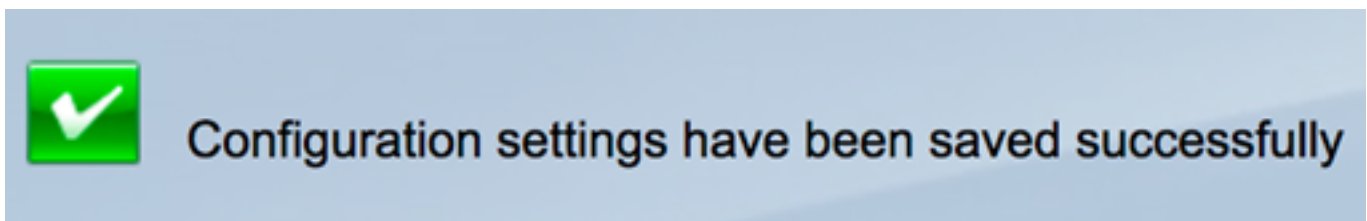
Import User Name & Password

User_Import_Template (2).csv

(To import User Names + Password via CSV files.)

Download User template:

ページの上部に、構成設定が正常に保存されたことを示すメッセージが表示されます。



ステップ4:[Save] をクリックして設定を保存します。

Import User Name & Password

User_Import_Template (2).csv

(To import User Names + Password via CSV files.)

Download User template:

これで、RV130またはRV130Wのローカルユーザのリストが正常にインポートされました。

この記事に関連するビデオを見る...

シスコのその他の技術に関する講演を表示するには、[ここをクリックしてください。](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。